

# 平成30年 秋祭り曳行コース

## 平成30年須賀地車曳行にあたり

祭礼運営委員長 北野登己郎  
青年会長 池田 匠

平素は須賀三町会のみなさまには、祭礼運営委員会の諸行事に多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。今年も秋祭りのだんじり曳行が、来月に近づいてまいりました。昨年同様、宮入後の曳行は、町内曳行を中心とする曳行コースを予定しています。2日間の曳行コースを詳しく掲載させていただきますので、だんじりの太鼓の音が近づいてまいりましたら、ぜひご家族お誘い合せのうえ、ご参加ください。



**保護者の皆様へ**  
当日は、お子様方の多数のご参加をお待ちしています。青年会をはじめ各種団体が「絶対安全」を第一に取り組みますが、保護者の方々にも引率にご協力をお願いします。  
尚、小学校3年生以下の児童は、事故防止のため極力保護者同伴でご参加いただきますようよろしくお願いいたします。

試験曳き	宮入	後祭
10月7日(日)14:00~18:00	10月13日(土)6:30~22:00	10月14日(日)7:00~22:00
14:00 地車小屋【発】①→②→	6:30 地車小屋【発】①→②③④⑤③→	7:00 地車小屋【発】①→②
14:10 陸野歯科③→	7:20 陸野歯科【宮入出】③→②⑦⑧⑬⑪→	7:20 陸野歯科【発】③→④⑤④②⑬⑪→
14:15 南山⑬⑭→	8:30 芝会館【着・休憩】⑫→	9:00 伏山公園【着・休憩】⑫
14:25 滝谷駅⑫→④	9:35 錦織神社【着】⑭	9:30 伏山公園【発】⑫
14:40 滝谷病院⑤→④③②→	14:00 錦織神社【発】⑭→⑬→⑮⑧⑦⑥	9:40 子ども体験タイム⑬③→
15:20 地車小屋【休憩】①	16:30 須賀台【休憩】⑥→⑦①	11:30 陸野歯科【着・昼食】③→⑭④⑤④③②⑦⑧
16:40 須賀台⑥→⑧②⑭④③→	18:00 地車小屋【夕食】①	14:30 須賀住宅【休憩】⑮→⑯⑭④②⑮
17:45 地車小屋【着】①	19:00 地車小屋【発】②③④⑤④	15:15 大東食品駐車場【休憩】⑮→④②⑭⑧③②⑦⑧②①
	19:30 富士屋【休憩】⑳	17:00 地車庫【夕食】①
	20:00 ライフ【パレード】㉔	18:30 地車庫【発】①→⑦⑥
	21:00 ライフ【発】㉔→⑭④⑭⑧③②→	19:00 須賀台【休憩】⑥→⑦⑧
	22:00 地車小屋【着】①	20:00 ミニストップ【パレード・休憩・子ども解散】㉓
		20:30 ミニストップ【発】㉓→②⑭④③②①
		22:00 地車小屋【着】①

子ども用“はっぴ”貸し出しています



**注意** だんじりのコース、時間等に関しては、当日の諸事情によって変更となる場合があります。詳しくは当日、祭礼関係者にお問い合わせください。

## 情報誌

# すゐが

須賀

発行  
平成30年9月20日  
須賀連合町会事務局  
編集責任者 井上利夫  
発行責任者 田中義記  
須賀2丁目10-30  
TEL: 28-1997  
須賀町 住民数 2,761人  
8月現在 世帯数 1,279世帯

## ごあいさつ

須賀連合町会長 田中義記

平素は、連合町会にご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。今年の夏は、例年になく猛暑・酷暑の連日でした。皆様方におかれましては、十分に体調管理をされて乗り切られたことと察します。  
私は、近年に起きた災害、阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本大震災など、未曾有の被害があったことは忘れることはできません。今年6月には、大阪北部で震度6弱の地震により、死傷者が出たり、建物倒壊などに被害がありました。ブロック塀の倒壊により、登校中の児童が犠牲になったことや水道管やガス管の破裂によるライフラインの被害、交通網のマヒなどで生活に影響が出ました。  
さらに追い打ちをかけるかのように、7月には西日本地域で豪雨による大災害が発生、

200人を越す犠牲者が出ました。まさか自分の地域が災害に遭うとは思っていなかったでしょう。昨日まで何もなかった地域が、突然に牙をむく事態に、日本のどこで起きても不思議ではありません。豪雨による道路陥没や崖崩れ、倒木や道路の冠水など思わぬ事態に遭遇する可能性も否定できません。水路も危険で膝上の水位になると急流で流されるそうです。  
近年の災害(地震を含めて)を見る限り、いつ、どこで、どんな規模の災害が起きるか予測はできません。それだけに、日頃から「防災意識」を持ち合わせる事が大事ではないでしょうか。また、あらゆる対応を考えていく必要があるのではないかと感じています。

## 合同防災訓練[6月3日(日)尼池児童遊園]

主催:須賀三町会

三町会の「合同防災訓練」を消防本部、須賀消防団の協力を得て開催しました。会場には約200名の参加があり、今までの「消火器訓練」に加え「煙道訓練」、「はしご車体験」を実施しました。  
「煙道訓練」ではわずか3mの空間ですが、煙が充満すると、先がまったく見えないため、出口が遠くに感じられました。タオルで口を押さえ、姿勢を低くして壁を触りながらの前進です。訓練とはいえ、もし実際だったら脱出できるか不安になりました。  
「はしご車体験」では、須賀台町会長・林さ

んと東町会組長・南方さんがはしご車を体験されました。高さ15mまで上昇し、お二人とも「平然」とした様子でしたが、心中はいかほどだったでしょうか。  
今回の訓練では、防災サイレンと放送が良く聞こえるかの確認をしました。場所によっては聞こえにくい地区もあり、今後の課題です。東町会では、実際の災害に備え、家族の無事を知らせるため、ポストにタオルを吊るす「安否確認」の訓練も実施しました。ご協力に感謝します。



## 盆踊り開催 [7月29日(日)尼池児童遊園]

主催:須賀青年会・須賀祭礼運営委員会



台風12号が大阪を直撃、当日未明まで暴風雨でしたが、午後には晴れ間が広がり、予定どおりに開催できてみんなの笑顔があふれていました。  
昨年に続き、子どもタイムでスタート。「どらえもん音頭」「炭坑節」「河内音頭」の踊りを披露。練習の成果もあり見事な踊りでした。続いてのジャンケン大会では、次々と勝利を重ねた5人の登壇に会場の声援も最高潮に。  
会場の周りを夜店が取り囲み、食べ物やらゲームに夢中、メインイベントの「小石丸ご一行」の「河内音頭」では、踊りの輪が何重にも続きました。真夏の夜を彩る盆踊りで、地域の触れ合いが一層深まりました。



## 須賀町内で実施されているクラブ活動・習い事教室・サークル活動のご紹介

●興味のある方は、各申込先へ連絡ください。

<h3>習字・書道教室</h3> <p>会場：須賀会館教室 日時：毎月第1・3土曜 14時～17時 第2・4月曜 19時～21時 先生：筒井桂子</p> <p>幼児から大人迄硬筆・毛筆コース</p> <p>●申込先：井上レイ子 00-0000</p>	<h3>日本民謡わらび会教室</h3> <p>会場：須賀会館教室 日時：毎月第1・2・3土曜 14時～17時半 先生：岸脇美晴</p> <p>日本の伝統文化民謡、お腹の底から声を出して心の安らぎを与えてくれます。</p> <p>●申込先：北浦好晴 00-0000</p>	<h3>須賀ヨガ教室</h3> <p>会場：須賀会館教室 日時：毎週火曜 10時～11時半 先生：吉田孝枝</p> <p>心身共に健康を目指します。 アンチエイジング（抗老化） 若返りをめざしませんか</p> <p>●申込先：吉田孝枝 00-0000</p>
<h3>須賀そろばん教室</h3> <p>会場1：憩の家教室 日時：毎週月曜～金曜 16時半～18時半 会場2：滝谷イトマン教室 日時：毎週月曜・木曜クラス 毎週火曜・水曜クラス</p> <p>先生：大川誠一 講師3名生徒50人 初段・1級合格者多数 学校の宿題も教室で済まして帰ります。</p> <p>●申込先：大川誠一 00-0000</p>	<h3>須賀西グラウンドゴルフ同好会</h3> <p>日時：毎週火曜・金曜 8時～11時 会場：新池公園</p> <p>●申込先：森田直美 00-0000</p>	<h3>須賀東・台グラウンドゴルフ同好会</h3> <p>日時：毎週木曜 13時～15時（7・8・1・2月は休） 会場：新池公園</p> <p>●申込先：北浦克彦 00-0000</p>
<h3>須賀西カラオケ教室</h3> <p>（西シニアクラブ） 会場：須賀会館教室 日時：毎週月曜 13時～15時</p> <p>楽しく声を出しています!!! ご参加ください。</p> <p>●申込先 新谷裕美子 00-0000</p>	<h3>須賀カラオケクラブ</h3> <p>会場：カラオケ喫茶「夏」 日時：毎月第2木曜 13時～17時 19時～22時</p> <p>須賀全域から歌好き仲間が思いっきり 声出して歌っています。</p> <p>●申込先 高田寛教 00-0000</p>	<h3>須賀台カラオケ同好会</h3> <p>会場1：須賀台会館教室 日時：毎月第2・4土曜 13時～16時 会場2：カラオケ喫茶ルル 日時：毎月第3土曜 13時～17時</p> <p>歌うことは、健康にとっても 良い効果があります。</p> <p>●申込先 今井孝 00-0000</p>

## 民生委員・児童委員の活動

厚生労働省では、地域共生社会の実現を目指した取り組みを進めています。地域共生社会とは、少子高齢化、単身世帯の増加、人口減少など、さまざまな課題をかかえながらも、人々が住み慣れた地域で自分らしく暮らしていける社会のことです。

私達、民生委員・児童委員は厚生労働大臣に委嘱されて活動しています。日常生活の中で、ちょっと気になる、どうしたらよいかわかるときに気軽に相談ができ、できるだけ早く、継続的に支援を受けられることは大変重要です。

心配ごと、悩みごと、ひとりで抱えていませんか。お近くの民生委員・児童委員にお気軽にご相談ください。

次のようなことでお困りの方は、遠慮なくご相談ください。

- ・生活や医療のことについて
- ・児童のことや子育てについて
- ・介護や認知症など高齢者のことについて
- ・ひとり親家庭について
- ・生活福祉・資金などの援助、活用について
- ・その他、福祉に関することについて

**民生委員・児童委員には守秘義務があります。**

須賀地区の民生委員・児童委員				
名前	住所	TEL	小学校区	担当地区
有富 哲碩	須賀一丁目 00番 00号	00-0000	錦 郡	須賀台地区
麻野 茂子	須賀一丁目 00番 00号	00-0000	錦 郡	須賀東・東部地区
和田 耕一	須賀二丁目 0番 30号	00-0000	錦 郡	須賀東・中・北部地区
岩崎ひとみ	須賀二丁目 0番 0号	00-0000	伏山台	須賀西・南部地区
岡田 匡永	須賀二丁目 00番 0号	00-0000	伏山台	須賀西・北部地区

## 今春、須賀の農地で民間運営の農業大学校の実習開始



今年3月から、民間運営の社会人向け週末開講の農業スクール「アグリイノベーション大学校※」が当地で実習を開始いたしました。

農業にとって「担い手の高齢化」や「休耕地の増加」が大きな問題となっていることから、須賀でも地域内の意見交換をはじめ、行政やJA大阪南等の協力を得て、たびたび情報交換の場を持ち、農地の活性化に取り組んできました。

このような活動を通じて、地元農家数軒が50アールの農地を大阪府の外郭団体（みどり公社）を通じて使用貸借契約を結ぶこととなりました。アグリイノベーション大学校では農業技術の原理原則を学ぶ場として有機農業を教えており、拠点は全国5か所（京都、大阪、千葉、埼玉、横浜）です。昨年度までの卒業生は1000名を超えました。今年も大阪地区では江坂座学会場と須賀の実習農地に数十名の方が学ばれています。

5月に、長らく休耕中だった農地に2棟の実習ハウスも建設されました。

須賀水利実行組合では若者の学びの場を提供し、農地の利用を支援するため、組合施設の貸与にも協力しています。地域に若者が学びのために集い、地域が活性化することが農業でも大事なことと考えています。

※ 運営元の（株）マイファームは2007年に代表者 西辻一真 が社会人を対象として農業技術や農業経営の学びの中で仲間のネットワークを広げる「農」を考える農業スクールを立ち上げた。



コラム・須賀の歴史

### 「南海高野線 滝谷駅」

大正末期高野線直通運転に活躍した電8形(並等電動車)写真提供：南海電鉄

明治5年(1872)に新橋ー横浜間に鉄道が開通し、続いて明治22年(1889)東海道線が開通しました。こうして日本国内各地で鉄道計画が始まりました。

高野鉄道(株)が明治29年(1896)設立され、路線の建設が始まります。明治31年(1898)大小路(堺東)ー狭山間(1月)に続き狭山ー長野間(3月)が施設され、狭山駅・滝谷駅・長野駅が開設しました。路線は当初、西高野街道沿いの計画でしたが、須賀では地権者からの強力な土地の提供の申し入れがあって、現在の土地に決定したと言い伝えられています。また、滝谷不動明王寺の参拝最寄り駅として駅名は「滝谷」と命名されたと伝わっています。尚、近鉄南大阪線の滝谷不動駅は当時、河陽鉄道(当時)の施設が4年遅れて開業しています。

路線は高野登山鉄道が河内長野より南へ延伸を始め、南海鉄道が合併する中で大正11年(1922)に高野線と称しました。大正14年(1925)には高野下までの延伸や難波から橋本、高野下への直通運転が始まりました。昭和12年(1937)に汐見橋ー長野間が複線化されています。

滝谷駅では、構内に引き込み線があり、地元特産の果樹(ブドウ・梨・桃)や綿花・タバコ葉等の出荷場として昭和35年(1960)まで貨物の取り扱いが行われていました。駅に併

設して日本通運の事務所が設けられて、一時荷馬車の出入り等で賑わっていました。

滝谷駅は富田林市内の唯一の南海電鉄の駅ですが、乗降者は市民より隣接地市の方の人数が多くなっています。1日の平均乗降者数では平成2年(1990)では7,434人でありましたが、直近の調査では平成29年(2017)は5,371人と長期的に低減しています。

●滝谷駅 画：浦西 徹

（一口メモ）

1. 両隣駅の平均乗降者数は  
金剛駅33,690人、千代田駅14,216人。
2. 駅名の由来  
●金剛駅…昭和12年(1937)開設時に金剛駅では四国八十八ヶ所出開帳のイベントが計画されその重要語句である「南無大師遍照金剛」に由来する  
●千代田駅…昭和13年(1938)に千代田駅が開設された。大正天皇の即位に因み大正5年(1916)に市村新田の名称が千代田村と改称されており、地名から「千代田駅」と命名されている。

## ペットの「ふん」は放置しないで下さい

多くの犬の飼い主は散歩時に袋などを携帯し、「ふん」を回収されています。残念なことに、一部マナーの悪い飼い主による「ふん」の放置が、各地域で大きな問題となっています。

須賀町においても、小学校の通学路や田畑の近くなどで、「ふん」の放置が見受けられま

す。衛生上にも問題がありますし、特に環境美化意識が高まる中、「ふん」を放置する飼い主にマナーの向上を訴えとともに、「ふん」を持ち帰るようお願いします。

